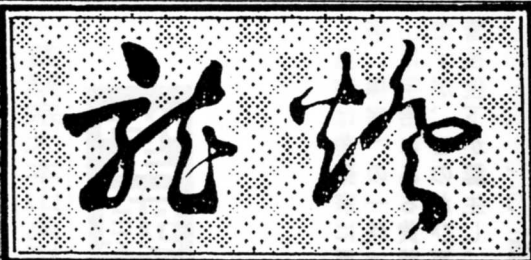


第38号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所  
 靈 龜 山 九 島 禅 院  
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18  
 ☎06-6583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



新生星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決) 祈願!

# ワークシェアリング導入 日本人の労働観を見直す好機



長引く不況、押し寄せる倒産  
 リストラのなかで、職を失う人  
 々が増加しています。  
 昨年十一月の完全失業率は  
 5・5%と過去最悪を三ヶ月連  
 続で更新、今年の完全失業率も  
 6%台と厳しい見方がされてい  
 ます。

春闘にのぞんで、連合の笹森  
 清会長も「完全失業率5・5%  
 には戦慄を禁じえない。失業家  
 庭の高校生が学校をやめてアル  
 バイトをし、偽装離婚をして妻  
 と子どもの方に生活保護手当を  
 出させるお父さんがいる。自殺  
 も多い。雇用問題は社会問題化  
 している」とベースアップの統  
 一要求を初めて見送る一方、雇  
 用の維持を最優先とする闘争方  
 針を確認しました。

雇用創出の有効な解決策とし  
 て、ワークシェアリング(仕事  
 の分かち合い)が注目されてい  
 ます。三月初めの合意を目指し  
 て、政府と日経連(雇用者側)  
 連合(労働者側)が、ワークシ  
 ェアリングの導入について話し  
 合っています。

ワークシェアリングとは、仕  
 事を分け合って、多くの人が働  
 くことができるようにすること  
 です。

例えば、一つの機械を完成さ  
 せるのに三人がそれぞれ八時間  
 働いていたとします。皆で二十  
 四時間かけて、機械が出来上が  
 ります。一人が働く時間を二時  
 間ずつ減らし、六時間ずつ働く  
 ようにすると、もう一人働くこ  
 とができるようになります。

右肩上がりの経済成長の時代  
 人の何倍も働くことが美德とさ  
 れてきました。世界中に日本の  
 商品を輸出し、貿易は一方的に  
 黒字を重ね、金余りの結果、株  
 や投資などマネーゲームが横行  
 し、分別も地位もある大企業ま  
 でもが、株を買いました。土地  
 を買い漁りました。財テクがも  
 てはやされ、家ころがし、土地  
 ころがしに一喜一憂した時代で  
 した。仏教でいうところの「餓  
 鬼道」そのものでした。  
 バブル経済が破綻し、デフレ  
 経済のもと、大企業の倒産が相  
 次ぎ、雇用問題が深刻化する今

こそ、日本人のもつ労働観を見  
 直すチャンスじゃないかと考え  
 ます。

労働とは、自分の人生を素晴  
 らしいものにし、子どもたちを  
 自分と同じ素晴らしい人生を築  
 くことができる人間に育てる仕  
 事をするためのものであり、そ  
 れ自体が目的ではありません。  
 従って、労働は仕事のためにこ  
 そあり、なるべく労働の量を減  
 らして負担を軽くすべきなので  
 す。

ワークシェアリングは、労働  
 者一人一人の生きかたに合わせ  
 た労働のあり方(働き方)を見  
 直せる好機であり、「仕事中毒  
 (ワーカホリック)」がしみつ  
 いた日本人に「暮らしの構造改  
 革」をはかる転機なのかもしれ  
 ません。  
 とは言っても、社会不安につ  
 ながる雇用悪化は是が非でも阻  
 止してもらいたい。

黄檗宗大本山萬福寺

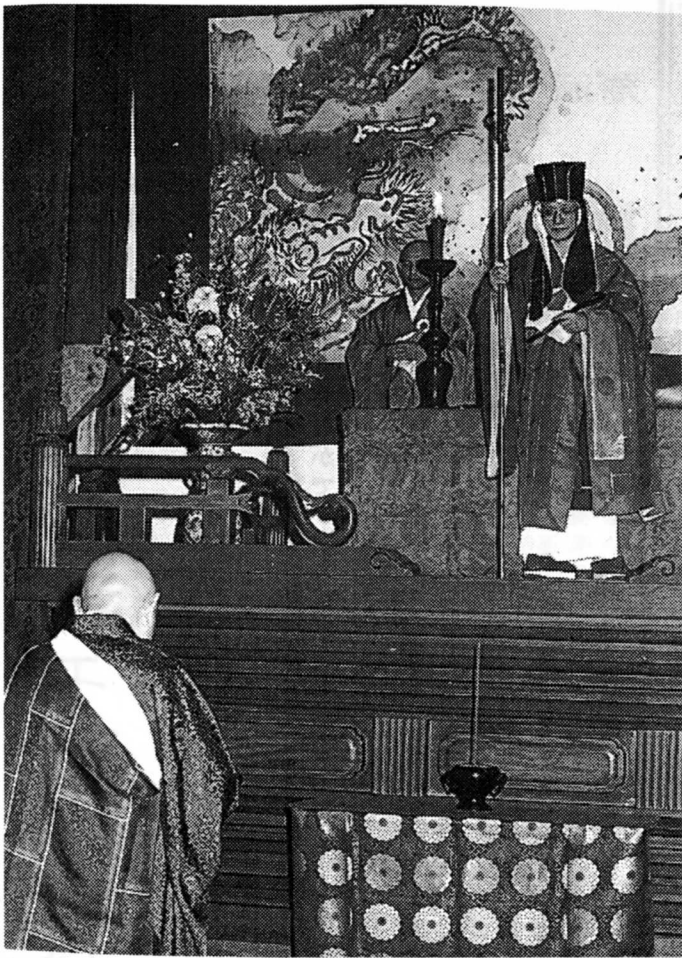
# 堂頭・仙石泰山管長の晋山式

## 古式通りの威儀に僧俗随喜

当院は黄檗宗に属し、臨濟宗（禅宗）の一派です。大本山は宇治にある黄檗山萬福寺ですが、このたび第六十代の管長猊下が誕生し、昨年十月

二十八日に祝国開堂式が厳かのうちにも盛大に挙行されました。新命堂頭は黄檗二代木庵禅師の塔所・萬寿院住職の仙石

泰山老師で、第五十七代村瀬玄妙老師の法嗣（はつすゝ）法を嗣ぎ印可を授与された）でもあります。黄檗宗管長は七年の任期で



新命堂頭と僧衆との間に緊迫の問酬を交わす

### 臨濟正宗の第一義を鼓吹

前管長林文照猊下のあとをうけ、五十八代の奥田行朗猊下（いづれも、当院法要にご来山されました）以来三人目の管長猊下にあたります。ずいぶんと昔のことですが奈良郡山の永慶寺の坐禅会に毎月小学生の息子を連れ通っていた頃、指導にいられていた泰山老師には、五年ほどご指導を頂きました。晋山式当日は朝、徳島県南部に集中豪雨との予報も出ておりましたが、曇天ながらも無事円成でき、臨濟・曹洞の各宗の管長をはじめ、全日本煎茶道連盟の関係者ら僧俗合わせて八百人が随喜参列されました。小柄も、紫衣に金筋緋袈裟の正式出頭装束で随喜しました。祝国開堂とは、新任持が晋山入寺し、上堂して国の安泰を祝し、法堂（はつどう）を開いて仏法の宗旨を演説し宣揚する儀式をいいます。新命猊下は宗祖隠元禅師以来の古式に則り、臨濟正宗の第一義を堂々と鼓吹され、氣迫のこもった衆僧との禅問答の応酬は参列者一同、息を呑む思いでした。臨濟宗の正脈を嗣ぎ「臨濟正宗」を称する、宗祖隠元禅師伝来の黄檗禅の伝統の重さを痛感した一日でした。

新生星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ（西大阪線対決）

祈願！



**○本堂の改修工事**

ようやく本堂若返り改修工事も完成に近づいてきました。前号でお知らせしましたように、外観は元のままですが内部はすっかり新築になりました。

内陣両側壁を撤去しましたので、奥の両座敷にも座ることができ、ゆったりとご参詣していただけます。

春の彼岸法要や夏のお施餓鬼法要など、今まで以上にご家族お揃いでご参詣いただけますようお願い申し上げます。

**○本尊入仏開眼法要**

本堂の改修工事にあわせ、ご本尊の聖観世音菩薩の修理が完了し、春彼岸法要(山門会)に本尊入仏開眼式を、大江山萬福寺塔頭萬松院院主の中島義晃禅師をお導師に、大江山萬福寺より禅堂雲水衆のご加担を得て執り行います。ご本尊は昭和三十五年七月の解体修理並びに後背、蓮台新調の際に、御身体より一延

宝二年(一六七四)に撰津住人菅田九左衛門氏が先祖菩提のために当本尊を修理補繕した」との覚書が発見されましたが、作者・年代とも不詳です。代々の住持は鎌倉時代のものとの口伝してきました。

**○謹製「記念御念珠」頒布**

別紙ご案内のように、本堂改修を記念して、取り替えた本堂本柱(檜)を加工装飾して「記念御念珠」を謹製しました。

長年にわたって、ご先祖様皆様方のご供養の気持ちのこもった本柱で仕立てていますので、日々のお参りにご愛用されますよう、ご家族様、ご親族にもお勧めになり、ご購入下さいますようお願い申し上げます。

**○蓮を育てませんか**

蓮を株分けします。ご希望の方は、お申し出下さい。栽培はいたって簡単です。自宅で栽培した蓮をお盆に、ご先祖様に供えませんか。

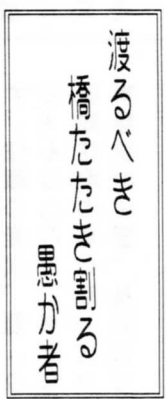
着メロで お経の続き  
どこへやら

NHK川柳道場1/10放送分で宿題「続く」で入選

小生、昨年より川柳にいさか興味をもち、相合傘という句会に参加し、柳人のやすみりえ先生をはじめ、多くの方々と親交を結ばせて頂きました。四字熟語など警句・諺(ことわざ)を川柳で表現すればおもしろいものだと、このコーナーをつくりました。

石橋をたたいて渡るといふことわざがありますが、これは「堅牢に見える石橋もたたいて安全を確かめてから渡るべし」ということで、事を行ううへで、慎重に調査研究をしてから実行するようにという戒めですが、慎重にならずに臆病になり、本来の渡るという目的を見失っている人をよく見かけます。事をすすめるう

えで、調査研究は不可欠なものです。それが、事を成すという目的・目標をとげるといふ事を決して忘れてはならないという事で、果敢に挑戦する心まで失ってはならないことは、言うまでもありません。大江健三郎氏も「見る前に跳べ」という小説で、挑戦する大事さを説いています。



せん。大江健三郎氏も「見る前に跳べ」という小説で、挑戦する大事さを説いています。

# 奉納抄

# 編集後記

金巻百萬元奉納  
〔平成十三年十二月十七日〕

増田兼子さまより、本堂改修工事の足しにとご喜捨いただきました。有意義に使わせて頂きます。

※改修工事費用は寺院会計から支出しますので、別段の勸募は致しません。

▼一九八五年の筑波科学万博で「ポストカプセル二〇〇一年」という催しがありました。十六年後に届く郵便を募集し、三百二十八万通もの郵便が平成十三年元旦に届けられました。  
▼当時の中曽根首相も応募し、十六年後の日本国首相宛に書簡を送られたそうです。

▼その内容は詳らかではありませんが、もしも、今そのような企画があれば、

どのような書簡を送るのでしようか。  
▼大修復した九島院の本堂は、頑丈にその威容を誇り、檀信徒の皆様方や地域の人達に愛され、コミュニケーションの場となっているのでしょうか？  
▼確実に判っていることが一つあります。住職の愛犬、龍(りょう)とケイちゃんの二匹は、幸せな一生を全うし啓知住職の墓に眠っているでしょう。  
▼春彼岸法要、是非にご出席下さい。

本堂改修 記念御念珠を謹製しましたご家庭に、ご親族では是非お求め下さい

## ●未来葉書

「未来葉書」というニュービジネスが生まれました。代金は400円で、3年か5年後に差出人の葉書が相手に届くように投函してくれるのだそうです。受取人は自分であっても他人でも構わないので今の気持ちを文章にしたため、数年後にその時の思いを振り返れるとのことでした。

自分宛ならば、古い日記を読み返すことと全く同じですが、他人宛なら、年月の経過のなかで、差出人のその時の思いが封印され配達されるのですから差出人の現実との相違に身をつまされることもあるのだそうです。

昨年ラジオで聞いた話ですが、某郵便局が17年前に17年後の元旦の日に届く手紙を募集したのだそうです。17年たった昨年の正月元旦に届いた手紙を受け取った人達の感想が語られていました。

ある手紙には、21世紀にはいる17年後には喫茶店を経営し、家族幸せに過ごしたいとの夢が書かれていたそうです。「事実は小説より奇なり」との警句を地で行く話も紹介されていました。

昨年おきた甲府信用金庫OL誘拐殺人事件の被害者のOLが応募し、17年後の夢を語っていたのだそうです。「21から27歳までに結婚し、一児をもうけ幸せな家庭を築きたい」との彼女の夢は、残酷な殺人事件に巻き込まれ、無残にも砕かれてしまいました。

世の中に(いま)という時はなかりけり (ま)という時には (い)の時は去るという歌があります。(いま)といっても(ま)という時はすでに去っているのです。過ぎ去った時は呼び戻すことはできず、歳月は非情きわまりなく、寸秒も待ってくれません。空しく過ごしてきた事を反省し、一挙手一投足が永遠の道を開く務めとなる精進が肝要でしょう。



阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工決定!

### 山門会・お彼岸法要

3月23日(土)  
午後1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありません  
ご回向お申し込み下さい。

修復された御本尊の入仏開眼法要  
大改修された本堂のお披露目もします

ご案内